

# ヤチカワズスゲ

Carex omiana Franch. et Savat.

## カヤツリゲサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

### 選定理由

生育環境に限られ、個体数も少ない。(現況:R-)

### 形態

花茎の上部に3~5個の無柄の小穂をまばらにつける。果胞は熟すと反り返り、小穂は金平糖状になる。なお、低地生で全体に大型になり、果胞の長さ4~5mmのものを狭義のヤチカワズスゲ var. omiana とし、高山生で全体に小型で果胞の長さ3.5~4mmのものを変種カワズスゲ var. monticola Ohwi として分けることがある。本県のもは白山の亜高山帯を中心に分布し、やや小型であるが、果胞の長さは4mm前後で両者の変異幅にまたがるように思われるので、ここでは細分化せず広義のヤチカワズスゲとして扱った。

### 国内分布

北海道~九州(カワズスゲは北海道~本州中部)。

### 県内分布

白山高地区。

### 生態など

水湿地に群生する多年草。花期は5~7月。

### 生育環境

亜高山帯の池塘の縁や湿地。

### 危険要因

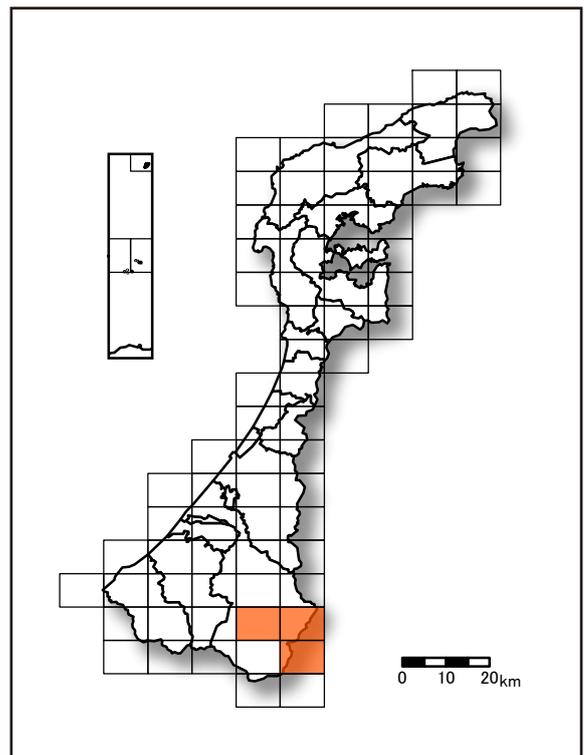
踏みつけ、湿地開発。

### 特記事項

自生地のほとんどは白山国立公園特別保護地区内にある。



白井伸和・2006年8月13日・白山市



県内の分布